



環境に配慮した技術開発、製品づくり

- ▶ LEDの基となる「サファイア基盤」の開発
- ▶ パワー半導体の製造

「サファイア基盤」の開発技術は省エネの鍵となり、照明などにおいて高効率を維持し、パワー半導体は、電力の効率的な制御と熱損失の少なさを実現しています。

今後はダイヤモンドを使用した技術開発で次世代電気自動車(EV)のエネルギー効率向上やバッテリーコストの低減に寄与、貢献をしていきます。



うどんの切れ端を活用！伝統から革新へ

- ▶ 廃棄していたうどんの切れ端をアップサイクル

- ・ 県内高齢者施設や子ども食堂に提供
- ・ 地元企業とクラフトビールの開発
- ・ 来店者へのプレゼント

施設などへの提供は、特に噛む力や飲み込む力の弱い高齢者に最適な食材となり、さまざまなアレンジレシピで提供されています。



「ゆざわゼロカーボンピッチ」開催しました！

ゼロカーボンシティ実現に向けた市内事業者などの取り組みを紹介します

令和5年11月20日、市は地域経済の活性化とゼロカーボンシティ推進の機運を高めることを目的としたイベント「ゆざわゼロカーボンピッチ」を開催しました。

イベントでは、先行的なエコ活動を展開する市内4事業者が自社の活動内容を“ピッチイベント(登壇者が、自社のサービスや技術、活動などを短時間で紹介する催し)”形式で発表したほか、湯沢翔北高校の翔北ゼロカーボンチームが未来への提言として今後取り組みたいアイデアを発表しました。

パネルディスカッションでは、市や他市町村の取り組みを紹介しながら、エシカル消費^{※2}や環境経営を焦点に、国際的な視点からさまざまな取り組みについて議論し、アップサイクルや環境へのアクションの大切さ、今後の展望が共有されました。

ゼロカーボンシティの実現に向けて、参加者全体での連携が呼びかけられ、今回のピッチイベントは脱炭素社会への理解を深め、環境への意識を高める機会となりました。

※1 カーボンオフセット制度…CO₂吸収量の多い地域やCO₂排出削減活動に投資することにより、CO₂排出量の埋め合わせをすること。

※2 エシカル消費…商品の生産から消費までの過程で、環境への影響など社会的に責任ある選択を意識的に行うこと。



翔北ゼロカーボンチームから未来への提言

- ▶ 湯沢市総カーボンオフセット計画

市内すべての事業者が可能な範囲でカーボンオフセット制度^{※1}を活用し、カーボンオフセットシティを目指す。

- ▶ ゼロカーボン教育プログラム

小中学校でのゼロカーボンに関する探究活動や市内の高校生によるワークショップなどを含むオリジナルな教育プログラムを構築し、全国のモデルケースとなることを目指す。



「省・小・精」から生み出す豊かな暮らし

- ▶ 社内で使用する電気をCO₂ゼロ電気(再生エネルギー)に切り替え
- ▶ 使用時のCO₂を大幅に削減するインクジェットプリンターを実現
- ▶ 使用済みの紙からほとんど水を使わず新しい紙を生み出す「ペーパーラボ」

再生可能エネルギーを会社内で使用し、空調やLEDを高効率のものへ変更。ペーパーラボは実際に市役所本庁舎2階にも設置しています。



酒蔵からのSDGsへの取組

- ▶ デマンド制御管理で電気、蒸気の使用量を最適化
- ▶ 自社田での酒米づくり
- ▶ 醸造副産物を活用した機能性素材化

自社の田んぼや多収種米の開発でCO₂を吸収しながら酒造に取り組んでいます。

米ぬかや酒粕などの醸造副産物を活用して機能性素材(ギャバ粉末など)にアップサイクル(創造的再利用)しています。

